



50
50th Anniversary

茨城労福協設立50周年記念誌

勤労者とともに半世紀



社団法人 茨城県労働者福祉協議会

50

50th Anniversary

福祉の心 50年

CONTENTS

ごあいさつ ————— 3
茨城県労働者福祉協議会会長 和田 浩美

祝辞 ————— 4
労働者福祉中央協議会会長 古賀 伸明
茨城県知事 橋本 昌

結成からの 40 年のあゆみ ————— 6
1963-1972
1973-1982
1983-1992
1993-2002

茨城労福協のこの 10 年 ————— 10

労福協歴代役員一覧 ————— 18

社団法人茨城県労働者福祉協議会 会員名簿 — 23

『継続は力なり』 より重要な勤労者 福祉事業

茨城県労働者福祉協議会
会 長 和 田 浩 美



茨城県労働者福祉協議会（労福協）は設立 50 周年を迎えることが出来ました。

会員組織をはじめ県・各市町村、経営者協会など多くの皆様のご理解・ご協力に改めまして感謝を申し上げ、共に慶びあいたいと存じます。

振り返りますと労福協は、1963 年（S38）に県内労働者の福祉活動の礎として、組織・未組織を問わず全ての働く仲間の福祉、経済的・社会的地位の向上を目指し設立されました。以来、設立理念を念頭に、先人の方々に築き上げていただいた組織体制や活動成果を基に、時代の変化に即応しながら様々な活動に取り組んでまいりました。

特筆すべき直近の事業成果としては、少子化対策の一環として県・各市町村と労福協で協同し 8 年目の取り組みとなります結婚支援事業「いばらき出会いサポートセンター」があり、本年 4 月には成婚数 1,000 組を達成することが出来ました。県内のマリッジサポーターや企業の皆様のご支援とご協力により、この結婚支援事業を茨城の特徴的な取り組みとして、全国から注目を浴びる事業に育てていただきました。また、一昨年開設した「ライフサポートいばらき」は県民の“何でも相談の窓口”として、セーフティーネットの機能を果たしております。

私たちを取り巻く経済情勢は、2013 年・第一四半期の GDP が年率換算で 3.8% 増の上向きの景気動向が発表される一方、依然として不透明感が払拭出来ない中で、各産業は事業統合や人員縮小など、生き残りをかけて様々な施策を打ち出しております。それに対し私たち労働組合は最大の責務である雇用の確保を第一義に、是々非々の労使論議を展開している状況であります。この様な状況下で勤労福祉事業は、県内の勤労者をはじめ広く県民が安心・安全に暮らせる地域社会づくりの一環として、より一層重要な役割を帯びてまいりました。各労働福祉団体には、会員の幸せと地域の発展を求めて会員組織と連携を強化しながら、自信を持って“しぶとく・しなやかに・遠慮なく”大胆かつ繊細に事業を推進していただきたいと存じます。

また、新公益法人制度改革の対応については、2014 年 4 月から一般社団法人への移行を目指し準備を進めております。『継続は力なり』50 周年の節目を契機に、より充実した勤労者福祉事業の遂行によって社会的役割を果たすために、会員組織をはじめ皆様の変わらぬご理解・ご協力を改めてお願い申し上げご挨拶いたします。

「茨城県労福協」 設立50周年によせて



労働者福祉中央協議会

会長 古賀 伸明

茨城県労福協設立50周年の節目を迎え、心よりお喜び申し上げますとともに、労福協運動の強化・発展にむけて献身的なご努力を重ねてこられたことに敬意を表します。

戦後の食料や生活物資が極端に不足していた混乱の時代、私たちの先輩は労働組合と協同組合が手を取り労働者の暮らしの安定をめざして共同行動をとる「労働者の生活福祉問題解決の組織」を作りました。それが中央労福協の前身である中央物対協であり、イデオロギーや組織の枠をこえて“福祉はひとつ”という労福協運動の原点ともいえるべき理念が芽生えたのです。そしてこの動きに呼応するように各都道府県に運動の輪がひろがり労福協が結成されてきました。

時代の変遷とともに私たちの生活は大きく変わりました。

いま経済のグローバル化の激しい競争下のもと、貧困と格差が広がり、負のスパイラルは深刻さを増しています。社会から孤立する若者が増え、自死3万人を切ったとはいえ若者の自死が増えています。時代がどんなに変わっても、私たちが望む社会は安心して暮らせる社会と家族の絆です。

東日本大震災で、私たちは「人と人とのつながり」の重要性や、万一の時を支える共済や融資など「共助」の仕組みがどれほど安心と勇気を与えてくれるか、改めて実感しました。

中央労福協2020年ビジョンでは、「市場経済の暴走を抑制するには連帯経済の領域拡大が必要であり、労働の尊厳が尊重され、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」を訴えています。一昨年来の国際協同組合年を契機に、協同組合の社会的価値が再認識されました。同時に、協同セクターの社会的役割も改めて問われ、いま協同組合同士の協同や労働組合との連携についても問題提起が始っています。中央労福協では「連携行動委員会」をたちあげ、共助を必要とする人たちに何ができるのか、その仕組みに参加できるようにするには何が必要か、この度そのまとめを行い一石を投じています。今後はこの議論を共有化し、労働組合と協同組合が手を携え具体的な形にしていくための努力が求められます。

茨城県労福協は、少子化対策と地域コミュニティをマッチングした出会いサポート事業を展開して参りましたが、先般、成婚数1,000組突破という大きな成果をあげられました。時代を先取りしたこの取り組みは社会的にも意義があり、また全国の労福協運動にとっても勇気と示唆を与える政策として評価されています。

貴労福協が、これまでの活動で培われた基盤やネットワークを更に強固なものとし、新たな50年にむかって、すべての勤労者の拠り所として発展していくことを祈念しお祝いの言葉とします。

祝 辞



茨城県知事

橋本 昌

このたび、社団法人茨城県労働者福祉協議会が設立 50 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

茨城県労働者福祉協議会におかれましては、昭和 38 年の設立以来、本県における労働福祉活動の中核として、労働者の生活の安定と福祉の向上に多大な貢献をしてこられました。これもひとえに、和田浩美会長をはじめ、歴代の役職員並びに関係者の皆様方のたゆまぬ努力の賜であり、深く敬意を表する次第でございます。

特に、平成 18 年に県と貴協議会が共同で設立した「いばらき出会いサポートセンター」におきましては、平成 25 年 4 月に成婚数が 1,000 組を超え、結婚支援に大きな成果を上げております。

また、本県の労働相談事業への支援や「ライフサポートいばらき」による「くらし何でも相談」の運営など、本県の労働者福祉の向上にお力添えをいただいております、改めて感謝申し上げます。

この 50 年、我が国は世界有数の経済大国として発展してまいりました。本県におきましても、常磐自動車道をはじめとする高速道路網の整備、つくばエクスプレスの開通、茨城港・鹿島港の整備、茨城空港の開港など陸・海・空の広域交通ネットワークの充実が図られるとともに、つくばや東海における科学技術の集積が進展し、企業立地が進み、県勢は飛躍的な発展を遂げてまいりました。

このような中、平成 23 年 3 月の東日本大震災は、本県にも甚大な被害をもたらしました。震災から 2 年半余りが過ぎ、この間、被災した施設の復旧は順調に進んでまいりましたが、原発事故の風評被害の影響などは依然として根強いものがあります。

県といたしましては、引き続き震災からの復旧・復興や経済の再生に取り組むとともに、茨城を着実に発展させていくため、企業誘致や中小企業の振興など、地域経済の活性化と働く場の確保に一層力を入れ「活力あるいばらき」づくりを進めてまいります。

そしてそこから生まれる活力を生かして、福祉や医療、教育などの充実を図り、県民の皆様が安全、安心、快適に暮らせる「人が輝く 元気で住みよい いばらきづくり」に全力で取り組んでまいります。

こうした取り組みを進める上で、産業を支える労働者の生活の安定と福祉の向上は必要不可欠なものでございます。茨城県労働者福祉協議会の皆様方におかれましては、このたびの設立 50 周年を契機といたしまして、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人茨城県労働者福祉協議会の益々のご発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

結成からの40年のあゆみ

1963→1972

■昭和38年度～昭和47年度

社会 情勢

- 1963 ○茨城県民の歌制定
- 1964 ○東海道新幹線開業 (64.10.1)
- 東京オリンピック開催 (64.10.10～24)

- 1969 ○鹿島港開港 (69.8.1)
- 大阪万博開催 (70.3.14～9.13)
- 1971 ○札幌オリンピック開催 (72.2.3～13)



労金創立10周年記念祝賀会



茨城県で開催された全国労スポ大会



日立平和台霊園創立総会

1963[昭和38]年度

- 10月22日、茨城県労働者福祉協議会設立
「労働運動と福祉活動を一本のレールにのせて長期的に闘おう」を趣意書にもりこみ結成
- 労金1,000億円達成運動に取り組む
- 各単産共済制度波及、国労共済発足

1964[昭和39]年度

- スポーツ祭典開始
第1回茨城県労働者スポーツ祭典を開催。関東・全国祭典にも出場
- 総会に労働者会館建設問題浮上
- つりセンター建設提案
労働者の余暇利用の一端として「つりセンター」建設を議論するが、候補地で難航
- 中央労福協15周年記念
- 全日本労働総同盟(同盟)結成

1965[昭和40]年度

- 「旅の会」設立
労福協「旅の会」を設立し会員間の交流につとめる(労働者の余暇利用の健全化に向けた旅行斡旋業)
- 労福協ニュース発行
- 労働者スポーツ協会設立
- 労福協物資部設立

1966[昭和41]年度

- 労働者福祉問題研究会を開催
- 労働基準局長へ要請
共済規制、社内預金反対の署名、抗議集会
- 労働福祉会館建設委員会を設置

1967[昭和42]年度

- 全国労スポ、茨城で開催
卓球大会とバレーボール大会を水戸で開催
- 労生協設立
労福協「物資部」「旅の会」を解散し、新たな「茨城県労働者消費生活協同組合」包含

1968[昭和43]年度

- 労働福祉会館落成
県労連、各事業団体の協力によって建設される
- 労働福祉強化月間制度導入
労働者福祉統一要求行動と強化月間制度を取り入れる
- 労住協1,000戸建設記念式典

1969[昭和44]年度

- 労福中央会に名称変更
第7回通常総会で茨城県労働者福祉中央会に名称を変更、社団法人の認可を得る
- 日立平和台霊園設立
- 労働者福祉研究会に取り組む

1970[昭和45]年度

- 日立平和台霊園起工式
- 茨城労働金庫本店新築落成

1971[昭和46]年度

- 労信協づくり始まる

1972[昭和47]年度

- 労信協発足
未組織対策の一環として茨城県労働者信用基金協会が発足

1973→1982

■昭和48年～昭和57年

社会 情勢

1973 ○筑波大学開学 ○第1次オイルショック
1974 ○茨城国体(テーマ=水と緑のまごころ国体)開催される(74.9.8～)

1975 ○ロッキード事件(76.2～)



保養施設「やみぞ」大子町に誕生



平和台霊園の除幕式



県南地区労福協設立

1973[昭和48]年度

- 余暇利用対策会議つくる
労働者保養施設に関する意見書を知事に提出
- 第1回労働者囲碁大会
- 労働金庫20周年記念式典
- 労住協2,000戸達成記念式典

1974[昭和49]年度

- 地区労福協の結成
県内トップをきって古河、総和地区労福協を結成
- 「いばらき労働福祉」創刊号発行
「労働福祉ニュース」から新たに「いばらき労働福祉」に機関紙名を変更
- 茨城県余暇活用事業団発足
労福協より3名が役員に就任
- 茨城県消団連結成総会

1976[昭和51]年度

- 「やみぞ」誕生
余暇活用事業団が取り組んだ働く者の保養施設「やみぞ」が大子町に誕生
- 県労連結成30周年

1979[昭和54]年度

- 育英基金発足
労働者が低利な育英資金を利用できるよう、茨城県労働者育英基金を設立
- 労働金庫研修センター「くにみ」竣工式

1982[昭和57]年度

- 県南地区労福協結成
- 福祉事業団体合同会議
各団体理事会後、学習会を実施
- 労働金庫30周年史発刊



労働者囲碁大会の様子

1973→1982

1983→1992

■昭和58年度～平成4年度

社会 情勢

- 1984 ○大洗鹿島線開通 (85.3.14)
- つくば万博開催 (85.3.17～9.16)
- 1987 ○国鉄分割民営化 (87.4.1)
- 常磐自動車道が県内全線開通 (88.3.24)

- 1991 ○ひたち海浜公園一部開園 (91.10～)



第1回チャリティゴルフ大会の懇親会



チャリティボウリング大会



労住協県北営業所が勝田に出店

1983[昭和58]年度

- 福祉基金協会設立
労働者福祉対策強化に向け茨城県労働者福祉基金協会を設立
- 県北地区労福協結成
- 労福協結成20周年記念レセプション

1984[昭和59]年度

- 労福中央会筑波ビル起工
- 労済会館落成

1985[昭和60]年度

- 福祉事業団体利用のハンドブック作成
- 日立平和台霊園別館落成

1986[昭和61]年度

- 千葉県労福協との研修交流会
- 全労済土浦支所開設
- 労金事務センター竣工式

1987[昭和62]年度

- 第1回勤労者チャリティゴルフ大会
- 水郡地区労福協結成

1988[昭和63]年度

- 水戸地区労福協結成
- 労スポ検討委員会設置
組織・財政両面にわたる健全な方向を求めて検討

1989[平成1]年度

- 日立地区労福協結成
- 中小企業勤労者サービスセンター
設立に向けて動きだす



全労済会館(4階建ビル)水戸駅南に建設

1990[平成2]年度

- 組織名変更
第28回総会で設立当初の茨城県労働者福祉協議会に名称を変更
- 古河地区労福協結成

1991[平成3]年度

- 勤労者福祉会館建設委員会設置
労働界、事業団体20名で構成
- 新規事業検討委員会審議
労福協が求める新規事業に対する諮問機関

1992[平成4]年度

- 茨城県勤労者美術展支援

1993→2002

■平成5年度～平成14年度

社会 情勢

1994 ○阪神大震災(95.1.17)

○地下鉄サリン事件発生(95.3.20)

1997 ○長野オリンピック開催(98.2.7～22)

1998 ○新茨城県庁舎竣工(99.3.24)

2001 ○アメリカで同時多発テロ事件発生(01.9.11)

2002 ○FIFA ワールドカップ日韓大会(02.5.31～6.30)



共同ショップ「ラウエル牛久」が竣工



労働者スポーツ祭典(マラソン)



第51回勤労者美術展

1993[平成5]年度

- 『労福協創立30周年記念誌』発行
- 平成6年度対県要請
- 第30回労働者スポーツ祭典(軟式野球・バレーボール・卓球・囲碁将棋)
- 1993年度勤労者福祉研究集会(以後毎年開催)

1994[平成6]年度

- 水戸市勤労者福祉サービスセンター設立
- 「バングラデッシュ友好教育基金」現地調査
- 新規事業開発実行委員会設置
- 統一ボランティア活動「霞ヶ浦湖岸一斉清掃」
- 阪神大震災救援活動(義援金カンパ・ボランティア派遣)

1995[平成7]年度

- 「はたらく男女のふれあいパーティー」共同開催始まる
- 第1回労働福祉会館建設検討委員会
- 第32回労働者スポーツ祭典(軟式野球・綱引き・マラソン・囲碁将棋)
- 統一ボランティア活動「霞ヶ浦湖岸一斉清掃」(3カ所669名参加)
- 共同ショップ「ラウエル牛久」竣工

1996[平成8]年度

- ラウエルいばらきフェア1996(第1回勤労者の祭典、ひたちなか市開催)
- 第45回勤労者美術展開催(労福協受託事業初年度)
- 労福協結婚相談事業検討開始

1997[平成9]年度

- ラウエルいばらきフェア1997(神栖町開催)
- 第34回労働者スポーツ祭典(第1回チャリティゴルフ・軟式野球・綱引き・マラソン)
- 組織の検討委員会始まる

1998[平成10]年度

- ひたちなか市勤労者福祉サービスセンター設立

- 「いばらき結婚相談センター」結成準備委員会発足
- 記録映画「住民が選択した町の福祉」上映会
- ラウエルいばらきフェア1998(土浦市開催)
- オーストラリア視察団派遣

1999[平成11]年度

- ラウエルいばらきフェア1999(総和町開催)
- いばらき結婚相談センター開設
- 茨城県労働総合相談センター開設(労福協が受託運営)
- コープあい、ひたちコープ統合調印式
- 新労働福祉会館建設のため、仮事務所に移転(旧茨城県自治会館)
- 共同ショップ「ラウエル鹿嶋」竣工

2000[平成12]年度

- 生協ハイコープ誕生
- 第37回労働者スポーツ祭典(第4回チャリティゴルフ大会)
- 21世紀労福協あり方検討委員会発足
- 高齢者福祉問題検討委員会発足
- ラウエルいばらきフェア2000(日立市開催)
- 新労働福祉会館竣工

2001[平成13]年度

- 中央ろうきん誕生
- 21世紀労福協あり方検討委員会中間報告
- ラウエルいばらきフェア2001(鹿嶋市開催)

2002[平成14]年度

- (社)茨城県労働者福祉会館が解散し、財産・事業を(財)茨城県労働者福祉基金協会へ移管
- ラウエルいばらきフェア2002(土浦市開催)

茨城労福協のこの10年

2003 [平成15年度]

●新型肺炎(SARS)、世界中で猛威ふるう

4月 1日	●労福協ホームページ開設
4月24日	●理事会で、「21世紀あり方検討委員会答申」に基づく労福協改革の方針化
5月29日	●第41回通常総会
6月 9日	●労働者スポーツ協会理事会にて、協会を解散し、事業を労福協に継承することを決定
7月 1日	●「いばらき結婚相談センター NEWS(季刊)」発刊
7月18日～ 8月 4日	●2003年度税務研修会[5カ所開催、145名参加]
8月27日	●県西地域労福協を解散し、下館、水海道、古河猿島の3地域労福協に再編
9月20日～27日	●第52回勤労者美術展 出品点数＝絵画181点(うち展示115点)、写真237点(うち展示163点)、書62点(うち展示51点)
10月17日	●第40回労働者スポーツ祭典(第7回チャリティゴルフ大会) [常陸太田市・グランドスラムカントリークラブ、150名参加]
10月26日	●ラウェルいばらきフェア2003[下館市] 1996年に始まったフェアも県内を2巡したことから今回をもって終了
11月11日	●2003勤労者福祉研究集会[ひたちなか市、90名参加] 「NPO活動と労働組合の新展開」 ◎常磐短期大学教授 安田 尚道 氏 「NPOから見た労福協運動—暮らしと福祉の協同に期待する」 ◎NPO事業サポートセンター常務理事 田中 尚輝 氏 「障害者の自立を支援して」 ◎ライフサポート水戸代表 井上 安博 氏
11月21日	●平成16年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

【地域労福協の活動】

陶芸教室・バーベキュー大会(県北)、介護教室(水郡)、進学セミナー(鹿行)、ひとり暮らしを励ます集い(下館)、救命救急法教室(水海道)など

- いばらき結婚相談センター
会員数/ 603名(男性397名、女性206名) 成婚者/ 35組
- 茨城県労働総合相談センター 相談件数/ 734件



第52回勤労者美術展



第7回チャリティゴルフ大会



茨城県に労働福祉政策の要請

2004 [平成16年度]

●NHK 県域デジタル放送開始。新潟県中越地震おこる

5月28日	●第42回通常総会
6月 1日	●2004年度税務研修会[水戸京成ホテル、19組合30名参加]
8月18日～ 2月20日	●ライフセミナー開催(延べ4日間)
9月18日～25日	●第53回勤労者美術展 出品点数＝絵画163点(うち展示109点)、写真245点(うち展示159点)、書25点(うち展示24点)
10月15日	●第41回労働者スポーツ祭典(第8回チャリティゴルフ大会) [常陸太田市・グランドスラムCC、189名参加]



税務研修会を開催

11月 2日

11月17日

- 平成17年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」
- 2004 勤労者福祉研究集会「水戸市・水戸京成ホテル、134名参加」
「食文化に学ぶ日本人の心」

◎俳優 神 太郎 氏

「老後生活を支える健康維持について」

◎つくばウェルネスリサーチ 中尾 喜久子 氏

11月

3月

3月31日

- 「ライフプランセミナー」スタート
- 労福協 40 周年記念誌「写真で見る 10 年史」発刊
- 茨城県労働総合相談センター廃止

国の緊急雇用対策事業の一環として 1999 年に設置され、県の委託を受け運営してきた相談センターが終了し、新たに県が設置する「いばらき労働相談センター」の運営委託を受ける

【地域労福協の活動】

日帰りバスツアー（県北）、ロングランボウリング大会（鹿行）、介護研修教育・救命講習会（土浦）、独居老人を蕎麦打ち慰問（下館）など



勤労者福祉研究集会



介護研修教育・救命講習会を開催

- いばらき結婚相談センター
会員数 / 735 名(男性 495 名、女性 240 名) 成婚者 / 37 組
- 茨城県労働総合相談センター 相談件数 / 511 件

2005 平成 17 年度

●つくばエクスプレス開業

4月 1日

5月26日

6月18日～ 2月18日

9月16日～ 23日

9月28日～ 11月16日

10月14日

11月10日

11月18日

- 茨城県労働総合相談センター廃止に伴い、「いばらき労働相談センター」開設

- 第 43 回通常総会

- ライフプランセミナー開催(延べ 4 回) [108 名参加]

- 第 54 回勤労者美術展

出品点数＝絵画 165 点(うち展示数 116 点)、写真 213 点(うち展示数 140 点)、書 18 点(うち展示数 18 点)

- 茨城県労働学院開講(延べ 8 日間) [筑西市・県筑西合同庁舎、84 名参加]

- 第 42 回労働者スポーツ祭典(第 9 回チャリティゴルフ大会) [常陸太田市・グランドスラム CC、193 名参加]

- 平成 18 年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

- 2005 勤労者福祉研究集会 [ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、130 名参加]

「支え合いの地域づくりの実践から」

◎支え合いの地域づくりアドバイザー 河田 珪子 氏

「笑いは百薬の長」

◎医療ジャーナリスト 松井 壽一 氏

【地域労福協の活動】

日立桜ロードレース給水ボランティア(県北)、勝田マラソンボランティア(常陸那珂)、介護教室(水郡)、イチゴ狩り体験ボランティア(土浦)、ボウリング大会(県南)、へら鮒つり大会(下館)、国会見学会(水海道)、チャリティゴルフ大会(全地域労福協)など



つくばエクスプレス開業



ライフプランセミナー



大好きいばらき県民まつりに参加

- いばらき結婚相談センター
会員数 / 801 名(男性 543 名、女性 258 名) 成婚者 / 49 組

2006 [平成18年度]

●平成の大合併により茨城県は44市町村
(32市10町2村)になる

4月 1日

●「いばらき出会いサポートセンター」を県と共同で設立(6月3日に開所式行う)

5月15日

●多重債務問題学習会を開催

5月25日

●第44回通常総会

8月31日

●マリッジサポーター研修会

9月16日～23日

●第55回勤労者美術展開催(当年をもって終了)

出品点数＝絵画161点(うち展示数114点)、写真202点(うち展示数142点)、書15点(うち展示数15点)

9月27日～11月15日

●茨城県労働学院開講(延べ8日間)

[水戸市・県水戸合同庁舎、133名参加]

10月13日

●第43回労働者スポーツ祭典(第10回チャリティゴルフ大会)

[笠間市・扶桑カントリー倶楽部、193名参加]

10月24日

●平成19年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

11月10日

●2006勤労者福祉研究集会

[ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、124名参加]

「今どきの結婚事情—恋愛ができれば人生は変わる」

◎ライフ・トータル・アドバイザー 安達 和子 氏

「ついに来た人口減少時代—労働組合・企業・行政はなにをなすべきか」

◎政策研究大学院大学教授 松谷 明彦 氏

3月10日～ 6月23日

●ライフプランセミナー開催(延べ6回)

【地域労福協の活動】

波崎トリアスロンボランティア(鹿行)、車いす寄贈(水戸・土浦)、会員交流ハイキング(下館)、救命救急講習会(水海道)、会員親善ボウリング大会(古河猿島)など



いばらき出会いサポートセンター開所式



茨城県労働学院開講



茨城県に労働福祉政策の要請

●いばらき出会いサポートセンター

会員数 / 1,429名(男性947名、女性482名) 成婚者 / 41組

2007 [平成19年度]

●郵政民営化スタート

5月24日

●第45回通常総会

7月 9日

●全労済茨城県本部が創立50周年式典

9月 1日

●生協ハイコープが「生活協同組合パルシステム茨城」に名称変更

10月15日

●第44回労働者スポーツ祭典(第11回チャリティゴルフ大会)

[笠間市・扶桑カントリー倶楽部、202名参加]

10月24日～12月12日

●茨城県労働学院開講(延べ8日間)[鹿嶋市・勤労文化会館、146名参加]

11月16日

●2007勤労者福祉研究集会

[ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、125名参加]

「ワークライフ・バランス—働き方の変革に向けて」

◎コンサルタント パク・ジョアン・スックチャ 氏

「NPOと労働者福祉活動」

◎中央労金総合企画部



第45回通常総会



税務研修会

11月27日
2月 9日～ 4月19日

- 平成20年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」
- ライフプランセミナー開催[6会場、155名参加]

【地域労福協の活動】

ロングランボウリング大会(鹿行)、ふれあいやすらぎ体験(土浦)、メンタルヘルスセミナー(古河猿島)などのほか、各地でクリーンキャンペーンを開催

●いばらき出会いサポートセンター

会員数／1,990名(男性1,308名、女性682名) 成婚者／97組



出会いサポートふれあいパーティー



ライフプランセミナー

2008 [平成20年度]

●米証券大手リーマン・ブラザーズが破綻。金融不安へ

5月22日
7月24日・25日
9月24日～11月12日

- 第46回通常総会
- 東部ブロック労福協2008年度代表者会議を水戸で開催
- 茨城県労働学院開講(延べ8日間)
[土浦市・県土浦合同庁舎、252名参加]

10月21日～ 2月12日
11月14日

- ライフプラン出前セミナー開催[5労組5会場、130名参加]
- 2008勤労者福祉研究集会
[ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、120名参加]
「職場のメンタルヘルス」
◎(財)茨城カウンセリングセンター主任カウンセラー
大築 明生 氏
「天璋院篤姫と幕末の大奥—開国か鎖国か危機存亡の幕府」
◎歴史・文芸評論家 高橋 千劔破 氏

11月18日
11月25日
12月 5日

- 平成21年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」
- 労働組合の会計税務に係る税務研修会を開催
- 第45回労働者スポーツ祭典(第12回チャリティゴルフ大会)
[笠間市・扶桑カントリー倶楽部、166名参加]

3月 1日
3月28日

- ろうきんつくばビルに「つくば市民大学」開校
- 出会いサポートセンター、結婚支援研修会を開催

【地域労福協の活動】

4市での市政懇談会(鹿行)、生活習慣病対策セミナー(土浦)などのほか、各地でチャリティゴルフ・ボウリングなど多数開催

●いばらき出会いサポートセンター

会員数／2,575名(男性1,688名、女性887名) 成婚者／137組



東部ブロック労福協代表者会議を水戸で開催



税務研修会を開催



リーマン・ショックで株価大暴落

2009 [平成21年度]

●裁判員裁判スタート。茨城空港開港

4月2日	●緊急労働相談事業(茨城县委託事業)への取り組み開始
4月11日～	●ライフプラン出前セミナー開催[6労組8会場、242名参加]
5月28日	●第47回通常総会
9月30日～11月18日	●茨城県労働学院開講(延べ8日間。当年で委託事業中止) [筑西市・県筑西合同庁舎、295名参加]
10月23日～2月3日	●土浦・鹿行・下館の3地域労福協で「NPO学習会」開催
10月14日	●第46回労働者スポーツ祭典(第13回チャリティゴルフ大会) [水戸市・水戸ゴルフクラブ、226名参加]
11月13日	●2009勤労者福祉研究集会 [ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、120名参加] 「県内NPOの活動状況と労働団体との連携」 ◎NPOセンター・コモンズ 「間違いだらけの医者選び」 ◎医師・ジャーナリスト 富家孝氏
12月21日	●平成22年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

【地域労福協の活動】

国会議事堂&鉄道博物館見学ツアー(常陸那珂)、波崎トリアスロン大会ボランティア(鹿行)、職場のメンタルヘルスマネジメントセミナー(土浦)、会員交流バスハイク(古河猿島)などのほか、各地でクリーンキャンペーンを実施



茨城空港が開港



茨城県労働学院開講



労働者スポーツ祭典(チャリティゴルフ大会)



クリーンキャンペーン



地域労福協の活動



子育て支援フォーラム



NPOフォーラム2010

2010 [平成22年度]

●3.11 東日本大震災と原発事故おこる

4月 1日

5月27日

8月 2日～ 5日

9月29日～10月27日

10月20日

11月12日

11月13日～ 2月26日

12月 6日

12月20日

2月 8日

2月19日

●全労済、共済ショップつくば店をオープン

●第48回通常総会

●出会いサポートセンター、結婚応援セミナーを開催
[水戸・つくば・筑西]●いばらき労働講座開講(延べ5日間)
[水戸市・県労働福祉会館、279名参加]●第47回勤労者スポーツの集い(第14回チャリティゴルフ大会)
[水戸市・水戸ゴルフクラブ、202名参加]●2010 勤労者福祉研究集会
[ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、136名参加]

「ワーク・ライフ・バランスで社会が変わる」

◎茨城大学教授 清山 玲 氏

「生かされて—夫婦の絆で乗り越えた更年期障害—」

◎漫才師 横山ひろし・春けいこ 氏

●ライフプラン出前セミナー開催[5労組5会場、135名参加]

●平成23年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

●出会いサポートセンター、成婚500組で記念式典開催

●県労信協が日信協に事業統合

●第47回勤労者スポーツの集い(第1回ボウリング大会)
[水戸市・水戸レイクサイドボウル、92名参加]

ライフプラン出前セミナー



出会いサポートセンター成婚500組記念式典



勤労者スポーツの集い(ボウリング大会)

【地域労福協の活動】

日立さくらロードレースボランティア(県北)、手をつなぐ育成会親子レクリエーション(土浦)、稲敷地区協秋季ボランティア支援(県南)、国会議事堂・品川水族館見学(下館)、春休み工作教室(古河猿島)など

●いばらき出会いサポートセンター

会員数 / 3,012名(男性1,866名、女性1,146名) 成婚者 / 171組



東部ブロック福祉リーダー塾



中央労福協全国合同研究集会



3.11 東日本大震災

2011 [平成23年度]

●なでしこジャパン、サッカー女子W杯で世界一に

4月10日

●鹿行地域労福協が潮来市日ノ出地区で災害ボランティア。
東日本大震災の復興に向けて、他の労福協構成団体も様々
に取り組む

5月21日～ 3月23日

●ライフプラン出前セミナー開催[10団体10会場]

5月27日

●第49回通常総会

9月14日～10月21日

●いばらき労働講座開講(延べ5日間)
[鹿嶋市・市勤労文化会館、174名参加]

10月 7日

●婚活フォーラムin茨城開催

10月19日

●第48回勤労者スポーツの集い(第15回チャリティゴルフ大会)
[水戸市・水戸ゴルフクラブ、208名参加]

11月 1日

●ライフサポートセンターいばらきがプレオープン

11月 8日

●2011 県勤労者福祉研究集会
[ひたちなか市・ホテルクリスタルパレス、152名参加]

「自分事で考えるワーク・ライフ・バランス」

◎NPO法人ファザーリングジャパン 東 浩司 氏

「これからの防災・危機管理—個人の備えと組織の対応—」

◎防災システム研究所 所長 山村 武彦 氏



勤労者福祉研究集会



第46回東部ブロック定期総会



福島の子ども保養プロジェクトの様子



ライフプランセミナー



東部ブロック ライフサポート経験交流

11月21日

●東部労福協第46回総会を水戸市で開催

11月28日

●労働組合会計の税務関連セミナー [労働福祉会館、23名参加]

12月27日

●平成24年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」

2月18日

●第48回勤労者スポーツの集い(第2回ボウリング大会)
[ひたちなか市・勝田パークボウル、92名参加]

3月11日

●日立平和台霊園本館、リニューアル再開



勤労者スポーツの集い(ボウリング大会)

【地域労福協の活動】

「第1回ビタコン」ボランティア(県北)、国会見学&浅草散策
ツアー(常陸那珂)、秋季ボランティア支援(県南)、へら鮎釣
り大会(下館)、役員向けセミナー(古河猿島)など



ライフサポートいばらきがスタート

●いばらき出会いサポートセンター

会員数/ 3,282名(男性1,975名、女性1,257名) 成婚者/ 179組

2012 [平成24年度]

●東京スカイツリー開業。尖閣諸島国有化で日中関係悪化

4月12日～ 2月 2日	●ライフプラン出前セミナー開催[10団体12会場、458名参加]
5月 7日	●ライフサポートいばらき本格稼働
5月25日	●第50回通常総会
10月10日	●第49回勤労者スポーツの集い(第16回チャリティゴルフ大会) [水戸市・水戸ゴルフクラブ、195名参加]
11月 6日	●勤労者福祉研究集会[水戸市・ホテルレイクビュー、166名参加] 「茨城県の防災・危機管理体制と地域防災力の向上」 ◎茨城県防災危機管理課 「やる気を起こす組織作りのヒント」 ◎健康社会学者・気象予報士 河合 薫 氏
11月 7日	●平成25年度「茨城県に対する労働福祉政策の要請」
11月28日	●労働組合の会計税務関連セミナー [労働福祉会館、23名参加]
12月 1日	●いばらき労働福祉講座開講 [ひたちなか市・日立労組水戸支部、23名参加]
2月 2日	●第49回勤労者スポーツの集い(第3回ボウリング大会) [ひたちなか市・勝田パークボウル、84名参加]
3月31日	●「労働相談センター」窓口業務を終了
通年	●国連の提唱する「国際協同組合年」の県実行委員会に参加し、諸活動に取り組む。シンポジウムや「福島の子保養プロジェクト」などを実施

【地域労福協の活動】

勝田マラソンボランティア(常陸那珂)、子育てセミナー(古河猿島)などのほか、全地域でゴルフ・ボウリング大会、クリーンキャンペーンを行った

●いばらき出会いサポートセンター

会員数 / 3,294名(男性2,005名、女性1,289名) 成婚者 / 193組



協同組合がよりよい社会を築きます



634mの東京スカイツリーが竣工



茨城県に労働福祉政策の要請



協同組合シンポジウム



婚活応援フォーラム in 茨城



記念事業の一環として寄付

2013 [平成25年度]

●2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定

4月18日	●出会いサポートセンターでのカップル誕生が1000組に
5月 7日	●ろうきん水戸支店リニューアルオープン
5月24日	●第51回通常総会
6月10日	●生協・農協・漁協・労福協などが参加して「協同組合ネット茨城」発足
7月26日	●婚活応援フォーラム in 茨城[つくば国際会議場、1,300人参加]
10月18日	●設立50周年記念事業(県児童福祉施設協議会に寄付)

労福協歴代役員一覽

[1963-1972]

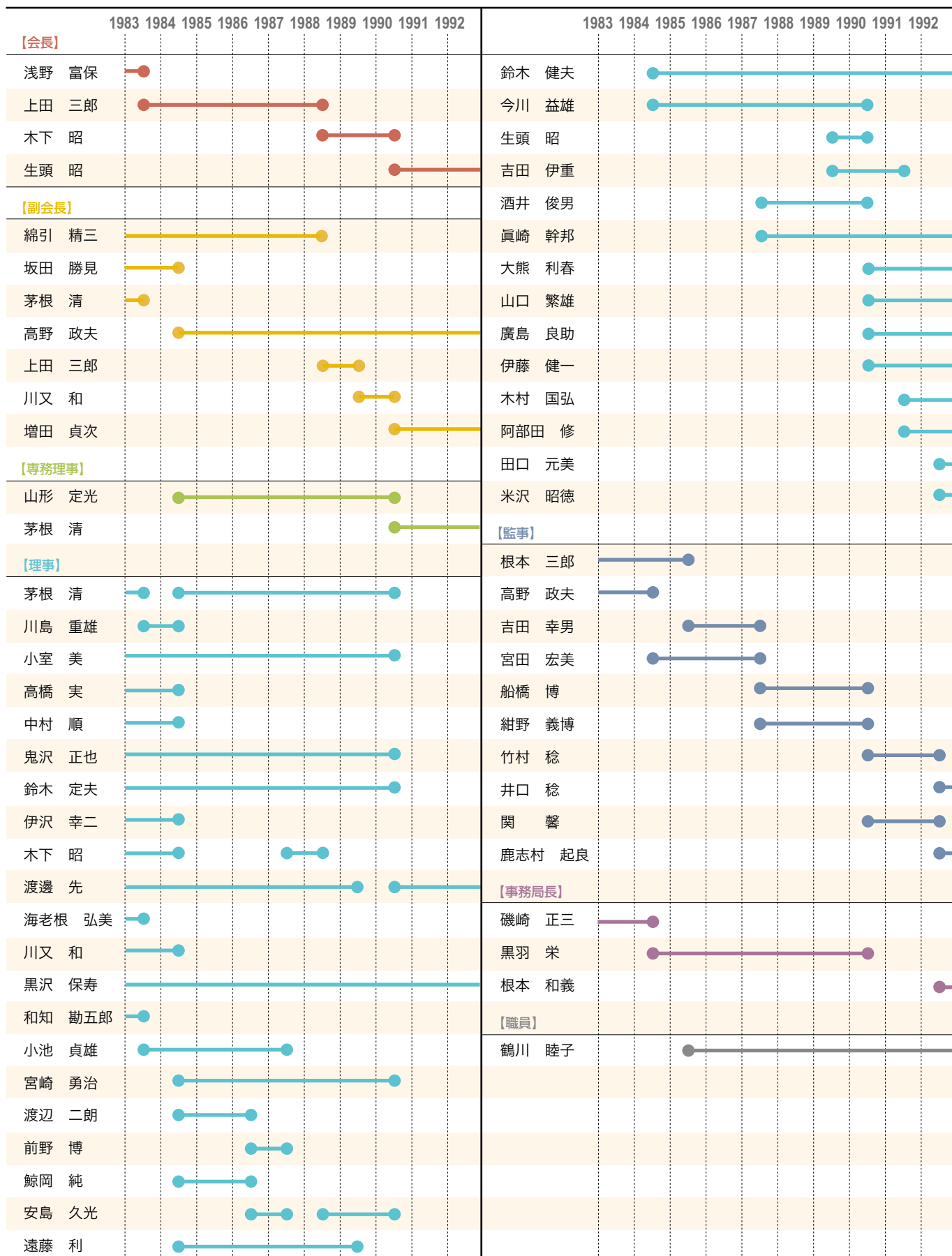
	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972		1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972
【会長】																					
浅野 富保	●										●	田崎 昭義									
宇野 文恵											●	助川 卓									
【副会長】												浅野 富保									
会沢 福寿	●										●	渡辺 大勝									
小里 初雄	●										●	鈴木 久夫									
綿引 精三											●	阿部田 芳夫									
鮎沢 保親											●	城地 豊司									
野上 義雄											●	菊地 義秀									
四元 美雄											●	来栖 光									
吉水 寿雄											●	関根 嘉一郎									
佐藤七五三夫											●	加藤 猛									
小野崎 政三											●	鈴木 康平									
大川 慶一											●	大川 慶一									
鬼沢 正也											●	清水 正美									
【専務理事】												鈴木 健夫									
北畠 常夫											●	川崎 不二男									
小里 初雄											●	藤原 誠									
【理事】												反町 好男									
伴 戈次郎	●										●	小原 伸一郎									
鯨岡 純	●										●	沼尻 勇夫									
鮎沢 保親	●										●	【監事】									
橋本 一	●										●	白坂 義一	●								
原 宏	●										●	稲田 弘之	●								
川島 潤	●										●	菊池 政之	●								
和地 勘五郎	●										●	木下 昭	●								
大沢 誠		●									●	鮎沢 保親	●								
松田 修		●									●	遠藤 利	●								
金成 千代松			●								●	柴崎 省									
松岡 達也			●								●	深谷 吟生									
楡井 康之			●								●	海老根 三夫									
鈴木 定夫				●							●	【事務局長】									
海老根 三夫					●						●	渡辺 大勝	●								
川又 和						●					●	高橋 堂晋	●								
宇野 文恵						●					●										
吉成 五郎						●					●										
小里 初雄						●					●										
佐藤七五三夫						●					●										

[1973-1982]

年度(4月～3月)

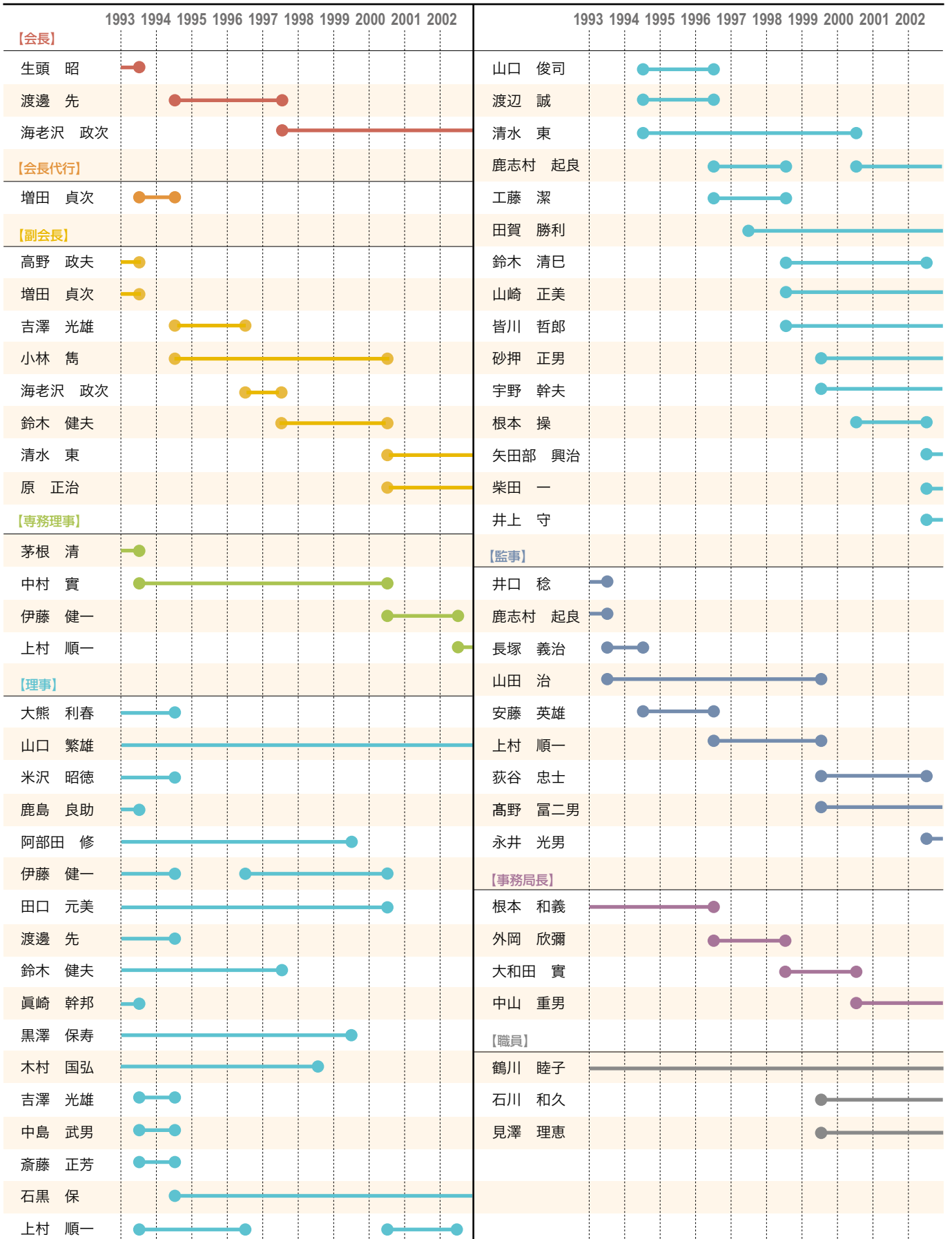
1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982	1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982
【会長】	
浅野 富保	円成 克彦
【副会長】	大図 清隆
綿引 精三	白鳥 渡
吉水 寿雄	大森 良男
鮎沢 保親	鯨岡 純
佐藤七五三夫	高橋 実
小野崎 政三	中村 順
大川 慶一	金成 千代松
鬼沢 正也	鬼沢 正也
斉藤 秀雄	鈴木 定夫
大森 良男	佐藤七五三夫
坂田 勝見	海老根 三夫
鈴木 定夫	伊沢 幸二
鈴木 光男	上田 三郎
【専務理事】	木下 昭
小里 初雄	渡邊 先
大図 清隆	海老根 弘美
【理事】	川又 和
菊地 義秀	黒沢 保寿
清水 正美	和知 勘五郎
鈴木 健夫	【監事】
川崎 不二男	柴崎 省
藤原 誠	海老根 三夫
反町 好男	片山 弘
小原 伸一郎	中村 順
沼尻 勇夫	根本 三郎
伊藤 健一	高野 政夫
大山 剛	【事務局長】
青木 忠治	高橋 堂晋
飛田 博	大図 清隆
田上 拓治	磯崎 正三
茅根 清	
広瀬 一義	
有座 保雄	
沼田 勉	
小室 美	
高橋 進	

[1983-1992]



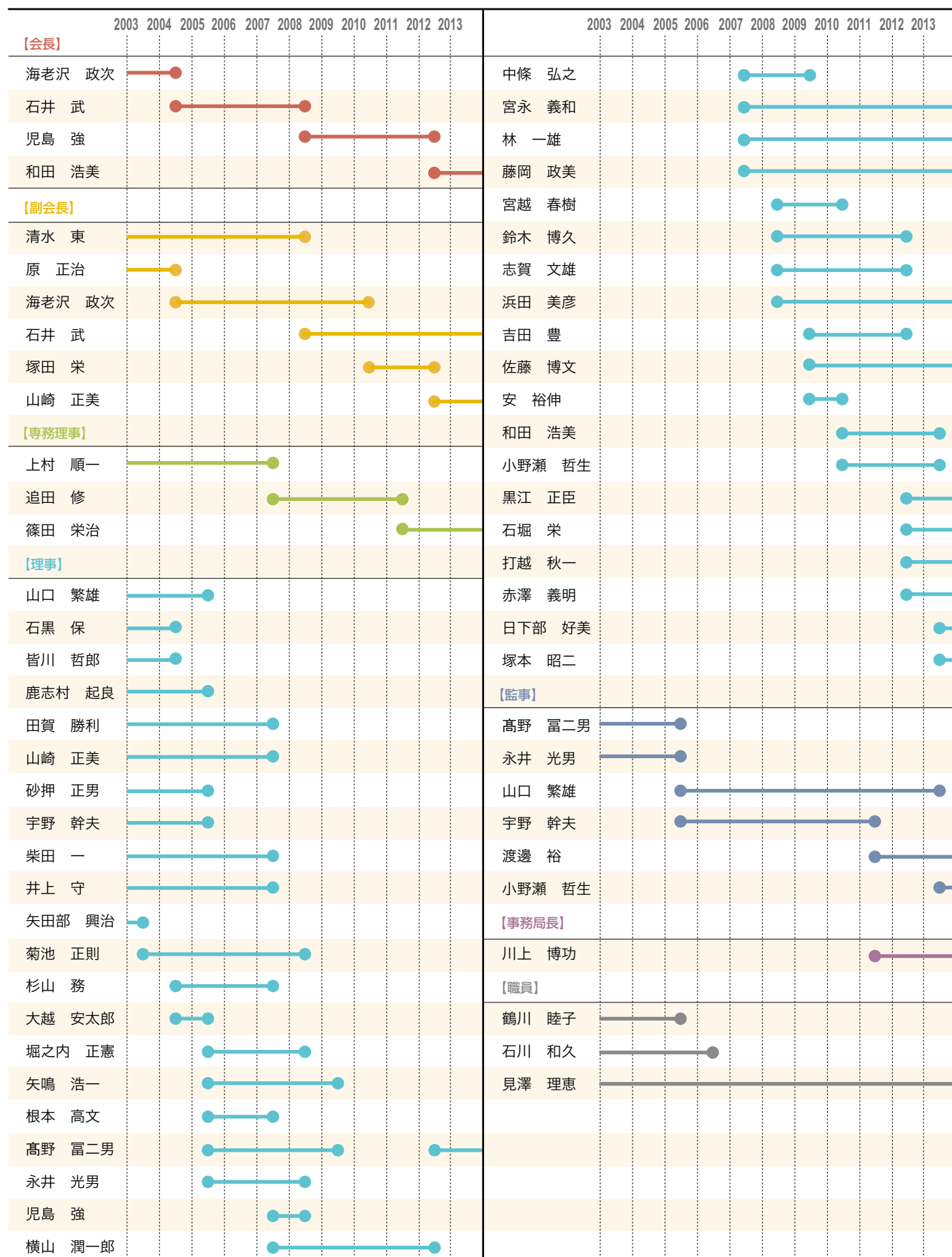
[1993-2002]

年度(4月～3月)



[2003-2012]

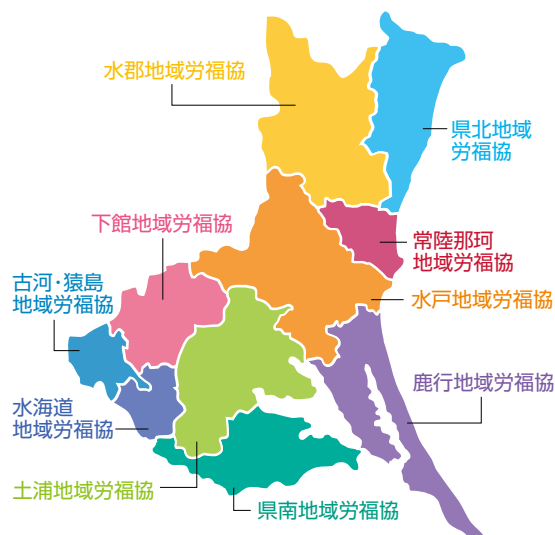
年度(4月～3月)



■ 社団法人茨城県労働者福祉協議会 会員名簿

会員名

- 1 電機連合茨城地方協議会
- 2 自治労茨城県本部
- 3 日教組茨城県教職員組合
- 4 基幹労連茨城県本部
- 5 J A M北関東茨城県連絡会
- 6 U A ゼンセン茨城県支部
- 7 自動車総連茨城地方協議会
- 8 電力総連茨城県電力総連
- 9 情報労連茨城県協議会
- 10 J E C連合茨城地方連絡会
- 11 J P 労組茨城連絡協議会
- 12 私鉄総連茨城県私鉄労組連合会
- 13 化学総連茨城地方連絡会議
- 14 全国農団労茨城県農業協同組合労組連合
- 15 フード連合茨城地区協議会
- 16 J R 連合ジェイアール東日本労働組合水戸地方本部
- 17 運輸労連茨城県連合会
- 18 政労連茨城地方連絡会議
- 19 紙バ連合連絡会
- 20 全国競馬連合日本中央競馬関東労組
- 21 国公総連全農林関東地方本部茨城
- 22 全国林野関連労組全林野茨城県支部
- 23 全水道関東地方本部茨城県支部
- 24 全自交労連茨城地方本部
- 25 全労金中央労金労組茨城統括支部
- 26 全日本海員組合関東地方支部茨城担当班
- 27 全国ガス労働組合連合会
- 28 全労済労組中央総支部茨城支部
- 29 動力車労組
- 30 国労水戸地方本部
- 31 茨城新聞労組
- 32 三菱化学労組連合会筑波労働組合
- 33 全法務労組水戸支部
- 34 茨城県高等学校教職員組合
- 35 中央労働金庫茨城県本部
- 36 全労済茨城県本部
- 37 生活協同組合バルシステム茨城
- 38 (公財)日立平和台霊園
- 39 (一財)茨城県労働者福祉基金協会
- 40 日本労働組合総連合会茨城県連合会
- 41 (一財)水戸市勤労者福祉サービスセンター
- 42 日産観光労組



社団法人
茨城県労働者福祉協議会
〒310-0022
茨城県水戸市梅香2丁目1-39
Tel.029-231-3503

2013年11月1日発行



◎労福協のシンボルマーク

このマークは「人」という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすく、中の輪は人と人の「和」を表しています。

